

「奉献生活の年」



週報

カトリック 園田教会

B年

2015年
8月2日(日)

No. 1963



年間第18主日

ミサ 9:00 ボナツィ神父

今日の聖歌と祈り

入祭の歌 : 典礼聖歌 5 あなたの いきを

答唱詩編 : 「聖書と典礼」をご覧ください

アレルヤ唱 : 「聖書と典礼」をご覧ください

奉納の歌 : 典礼聖歌 183 われらはシオンで神を たたえ

拝領の歌 : プリント うるわしき (カトリック聖歌288番)

皆で唱える祈り : カードまたはプリント
新生計画20年の祈り・新生の祈り

閉祭の歌 : 典礼聖歌 391 ごらんよ空の鳥

今日の典礼奉仕者

先唱	上島
聖体奉仕	Sr. 辻家
第1朗読者	佐藤
第2朗読者	川人
共同祈願・意向担当者	① 外間 ② 外間 ③ 豊嶋 ④ 長岡
奉納と献金	建設・営繕委員会
典礼当番	畠山、細木
オルガン奉仕者	山田

今日の行事・他

- ・聖歌練習：ミサ後、8月9日(日)「平和旬間」のための聖歌を練習をいたします。(全員)
- ・シモン会 ・サンジュゼッペ聖歌隊練習(10:30～)

お知らせ

- ・2015年 7月度定例評議会報告をお持ち帰りください。

来週、百合学院で開催される「みんなのサマーセミナー」で川邨神父様が高山右近の講義をされます。

日時：8月9日(日)13:40～ 場所：百合学院 N教室(3階)

みなさま多数のご出席をお願いいたします。

尚、キャラクターの“うーこんどの“が来場(12:30～)、授業にも参加致します。

8月6日は「主の変容」の祝日です。

【変容の祝日】

主イエスの変容の物語は、マタイ・マルコ・ルカの福音書に記されています。イエスが、ペトロとヤコブ、その兄弟ヨハネを伴って高い山に登り、そこで来るべき受難について、モーセとエリアと語り合いました。そのときイエスが、弟子たちの見ている前でまばゆいばかりの姿に変わったという出来事を記念して、教会は、毎年8月6日を主の変容の祝日としています。

教会がこの日を大きな祝日に指定しているのはなぜでしょうか。それは主の変容が、イエスの受難と復活を暗示しているからです。主の変容のエピソードは、ゲッセマネの園の受難物語と不思議な類似点をもっています。

場所は両方とも高いところ、イエスは、変容の物語ではモーセとエリアと受難について語り合い、ゲッセマネでは天使が慰めます。両方の物語とも、一緒にいる弟子は眠くなって目を開けていられません。これは深い神秘の前に、人間の心はまったく力を失ってしまうことを表わしています。

さて、二つの物語には目だった相違点もあります。イエスは、受難について語り合うとき、変容のエピソードではまばゆいばかりに光輝き、ゲッセマネでは赤い血に染まります。これは、復活に先立つメシアの受難は、血を流すまでの苦痛を伴うものであると同時に、輝くような栄光に満ちたものであることを象徴しているようです。

教会は、ともすると、復活のいのちに至るまでの壮絶な苦しみという面を強調しすぎていたかもしれません。しかし、その苦難は、神の栄光を表わす輝かしい姿でもあります。私たちには、人生の中で大きな苦しみを耐えなければならない場面が必ずあります。そのとき、私たちは血にまみれた惨めな姿をさらすだけではありません。私たちが苦しむとき、人びとの前では惨めでなさけない姿に見えるかも知れません。しかし苦しみを神様に委ねるとき、自分自身が神の栄光に輝くまばゆい光を帯びていることを忘れてはなりません。主の変容の祝日は、それを私たちに思い起こさせてくれるでしょう。

(カトリック中央協議会 HP ひとくちメモから)



今週の暦

8月3日(月) 集会祭儀 7:00～

8月4日(火) 《記》聖ヨハネ・マリア・ビアンネ司祭
ミサ 7:00～ ボナツィ神父

8月5日(水) ミサ 7:00～ ボナツィ神父

「日本カトリック平和旬間」(～15日まで)

8月6日(木) **《祝》主の変容**
ミサ 7:00～ ボナツィ神父

8月7日(金) ミサ 7:00～ 永富神父
・信仰教育:お泊り会 (～9日(日)まで)

8月8日(土) 《記》聖ドミニコ司祭
ミサ 7:00～ ボナツィ神父
・教会清掃(総務第1週)

8月9日(日) **年間第19主日**
ミサ 9:00 アウディシオ神父
平和祈願: 平和を求める祈り

